

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

4

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-158861

(43)Date of publication of application : 13.06.2000

(51)Int.Cl. B42D 15/10  
G06K 19/077  
G06K 19/10

(21)Application number : 10-333547

(71)Applicant : PRINTING BUREAU MINISTRY OF FINANCE  
JAPAN

(22)Date of filing : 25.11.1998

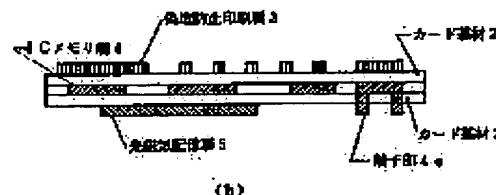
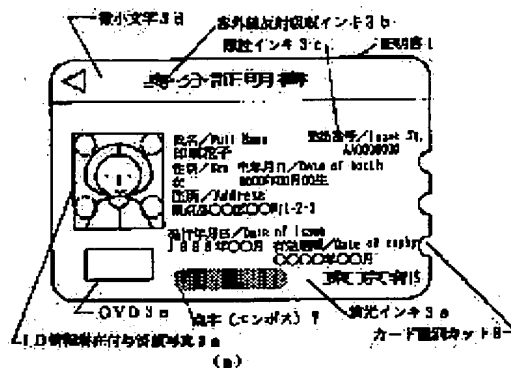
(72)Inventor : OI MAKOTO  
HIRAYAMA YUJI  
KIUCHI SUSUMU

## (54) CARDLIKE CERTIFICATE AND CHECKING SYSTEM FOR THE CERTIFICATE

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a certificate which is hard to forge and has a high credibility, can store various private informations regarding a bearer himself, and is handy to carry, suitable for official documentation.

SOLUTION: The cardlike certificate 1 has an antiforgery printing layer 3 formed on the upper face of a card base material 2 incorporating an IC memory layer 4 and a magneto-optical storage layer 5 or a magnetic recording layer formed on the back face and the layer is coated with an overcoat layer. On the layer 3, a face photograph 3a with ID information latently provided and, antiforegery means such as an infrared reflection absorbing ink 3b, a magnetic ink 3c, very small characters 3d and a fluorescent ink 3e is printed. The face photograph 3a is formed of an image which is created by CMY or CMYK color printing based on the color photograph of a certificate bearer himself and contains ID pattern information which is normally invisible, overlapped on the yellow part of the CMY or the CMYK colors.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

03.02.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

# (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-158861

(P2000-158861A)

(43) 公開日 平成12年6月13日 (2000. 6. 13)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード* (参考)	
B 4 2 D 15/10	5 0 1	B 4 2 D 15/10	5 0 1 P	2 C 0 0 5
	5 2 1		5 2 1	5 B 0 3 5
G 0 6 K 19/077		G 0 6 K 19/00	K	
19/10			S	

審査請求 未請求 請求項の数19 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平10-333547  
(22) 出願日 平成10年11月25日 (1998. 11. 25)

(71) 出願人 391002823  
大蔵省印刷局長  
東京都港区虎ノ門2丁目2番4号  
(72) 発明者 大井 誠  
東京都新宿区払方町35番15号  
(72) 発明者 平山 祐二  
埼玉県新座市新座2丁目1番  
(72) 発明者 木内 進  
東京都北区豊島4丁目2番2-501号

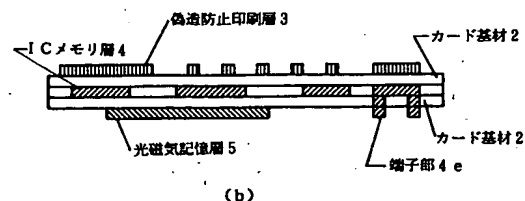
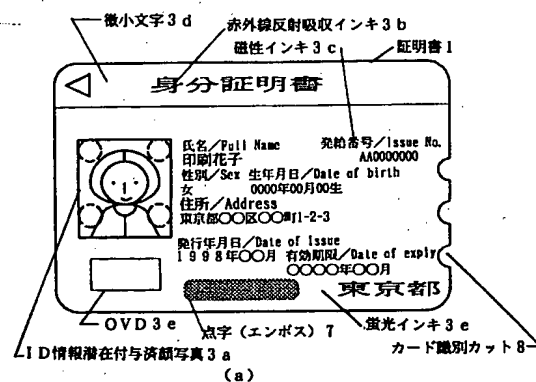
最終頁に続く

## (54) 【発明の名称】 カード状の証明書及び該証明書の確認方式

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 偽造され難く、信用度が高く、所持者本人の各種個人情報を収納可能で、携帯に便利で、且つ公的な書類にも適合する証明書を提供する。

【解決手段】 カード状の証明書1は、I Cメモリ層4を内蔵するカード基材2の上面に偽造防止印刷層3を裏面に光磁気記憶層5又は磁気記録層を形成し、これをオーバーコート層により被覆する。前記層3にはI D情報潜在付与済顔写真3 a及び赤外線反射吸収インキ3 b、磁性インキ3 c、微小文字3 d、蛍光インキ3 e等の偽造防止手段を印刷する。前記顔写真3 aは証明書所持者本人のカラー写真からCMY又はCMY Kのカラー印刷により画像を作成し、このCMY又はCMY Kの色中のイエロー部分に通常では目視不可能なI Dパターン情報を重畳させた画像である。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 その内部に IC メモリ層を有するカード状の基材の上面に偽造防止印刷層が形成されたカード状の証明書。

【請求項 2】 その内部に IC メモリ層を有するカード状の基材の上面に偽造防止印刷層が下面に光磁気記憶層又は磁気記録層が形成された前記請求項 1 記載のカード状の証明書。

【請求項 3】 前記偽造防止印刷層が透かし入り印刷基材上に形成された前記請求項 1 又は 2 記載のカード状の証明書。

【請求項 4】 前記カード状の基材に透かしを入れた前記請求項 1 又は 2 記載のカード状の証明書。

【請求項 5】 前記透かし入りカード状の基材はその中に透かし入り繊維が組み込まれた前記請求項 4 記載のカード状の証明書。

【請求項 6】 前記カード状の証明書の上面又は下面に点字（エンボス）が形成された請求項 1、2、3、4 又は 5 記載のカード状の証明書。

【請求項 7】 前記カード状の証明書の側端部に証明書の種別及び走査方向を示す切り欠きが形成された請求項 1、2、3、4 又は 5 記載のカード状の証明書。

【請求項 8】 前記偽造防止印刷層の一部が赤外線反射又は吸収インキにより印刷された請求項 1、2 又は 3 記載のカード状の証明書。

【請求項 9】 前記偽造防止印刷層の一部が磁性インキにより印刷された請求項 1、2 又は 3 記載のカード状の証明書。

【請求項 10】 前記偽造防止印刷層には少なくとも証明書の具体的なタイトルを印刷するタイトル印刷部と、証明書所持者本人のデータを印刷する本人データ印刷部と、前記本人の顔写真が印刷される ID 情報潜在付与済顔写真印刷部を有する請求項 1、2 又は 3 記載のカード状の証明書。

【請求項 11】 前記偽造防止印刷層は微小文字印刷部、万線模様（モアレ）印刷部、レリーフ模様印刷部、モアレ発生彩紋印刷部及び光学的变化素子（OVD: Optically Variable Device）を有する請求項 1、2 又は 3 記載のカード状の証明書。

【請求項 12】 前記 ID 情報潜在付与済顔写真印刷部は前記証明書所持者本人のカラー顔写真から CMY 又は CMYK のカラー印刷により画像を作成し、この CMY 又は CMYK の色中のイエロー部分に通常では目視不可能な ID パターン情報を重畳させた ID パターン情報の潜在付与済みデジタルカラー画像から構成された請求項 9 記載のカード状の各種証明書。

【請求項 13】 前記請求項 1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11 又は 12 記載のカード状の証明書の表面全体をオーバコート層で被覆保護したカード状の証明書。

【請求項 14】 前記 IC メモリ層は前記証明書所持者本人の顔写真画像及び証明書所持者本人のデータを記憶する本人情報記憶手段を有する請求項 1 又は 2 記載のカード状の証明書。

【請求項 15】 前記光磁気記憶層又は磁気記録層は前記証明書所持者本人の顔写真画像及び証明書所持者本人のデータを記憶する本人情報記憶手段を有する請求項 2 記載のカード状の証明書。

【請求項 16】 前記カード状の証明書は身分証明書、パスポート、その他公的機関で発行する証明書として利用される請求項 1 乃至 15 のうちの 1 からなるカード状の証明書。

【請求項 17】 前記請求項 1 又は 2 に記載の前記偽造防止印刷層中の本人確認データを目視により得た結果と前記請求項 1 又は 2 に記載の IC メモリ層から読み出された本人確認データとが一致した場合に本人と認める各種証明書の確認方式。

【請求項 18】 前記請求項 1 又は 2 に記載の前記偽造防止印刷層中の本人確認データを目視により得た結果と前記請求項 2 に記載の光磁気記憶層又は磁気記録層から読み出された本人確認データとが一致した場合に本人と認める証明書の確認方式。

【請求項 19】 前記請求項 1 又は 2 に記載の前記偽造防止印刷層中の本人確認データを目視により得た結果と、前記請求項 1 又は 2 に記載の IC メモリ層から読み出された本人確認データと、前記請求項 2 に記載の光磁気記憶層又は磁気記録層から読み出された本人確認データとが一致した場合に本人と認める証明書の確認方式。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、IC メモリ又は光磁気ディスク等の電子記録媒体に本人の身分情報を記録すると共にその上面に本人の身分情報及び顔写真が偽造防止印刷されたカード状の身分証明書及び該身分証明書の確認方式に関する。

## 【0002】

【従来の技術】銀行、郵便局、役所等において、所定の手続を行う場合、手続を行う者が本人であることを証明する機会が多く、現在、本人を証明するものとして、運転免許証や健康保険証、官庁又は民間会社等発行の身分証明書等が代表的なものとして挙げられる。しかしながら、運転免許証は公的機関である公安委員会が発行し、本人の顔写真も入っているので、身分を証明するものとしては好適であるが、年齢制限があり、且つ自動車の運転をしない者又は運転に不適合な者等は運転免許証を取得することが出来ないという問題がある。

【0003】そして、健康保険証は、殆どの国民が所持しているが、その複写物でも利用可能な点で、身分証明書として通用しない場合もあり、また、その形状がカードより大きいために携帯上も不便であるという問題があ

る。更に、身分証明書は官庁又は会社に所属していない者等には発行されないという問題がある。また、自治体の発行する各種カードを IC (メモリ) カード化するという発想もあるが、偽造防止という点でまだ改良の余地がある。

#### 【0004】

【発明が解決しようとする課題】本発明は前記のような問題点を解消するためになされたもので、本発明の目的は、万人に発行されかつ偽造され難く、信用度が高く、所持者本人の各種個人情報情報を収納でき、且つ公的な書類にも適合する証明書を提供することにある。

#### 【0005】

【課題を解決するための手段】(1) 本発明は、その内部に IC メモリ層を有するカード状の基材の上面に偽造防止印刷層が形成されたカード状の証明書である。

【0006】(2) 本発明は、その内部に IC メモリ層を有するカード状の基材の上面に偽造防止印刷層が下面に光磁気記憶層又は磁気記録層が形成された前記(1)記載のカード状の証明書である。

【0007】(3) 本発明は、前記偽造防止印刷層が透かし入り印刷基材上に形成された前記(1)又は(2)記載のカード状の証明書である。

【0008】(4) 本発明は、前記カード状の基材に透かしを入れた前記(1)又は(2)記載のカード状の証明書である。

【0009】(5) 本発明は、前記透かし入りカード状の基材は、その中に透かし入り繊維物が組み込まれた前記(4)記載のカード状の証明書である。

【0010】(6) 本発明は、前記カード状の証明書の上面又は下面に点字(エンボス)が形成された前記(1)、(2)、(3)又は(4)記載のカード状の証明書である。

【0011】(7) 本発明は、前記カード状の証明書の側端部に証明書の種別及び走査方向を示す切り欠きが形成された前記(1)、(2)、(3)又は(4)記載のカード状の証明書である。

【0012】(8) 本発明は、前記偽造防止印刷層の一部が赤外線反射又は吸収インキにより印刷された前記(1)、(2)又は(3)記載のカード状の証明書である。

【0013】(9) 本発明は、前記偽造防止印刷層の一部が磁性インキにより印刷された前記(1)、(2)又は(3)記載のカード状の証明書である。

【0014】(10) 本発明は、前記偽造防止印刷層には少なくとも証明書の具体的なタイトルを印刷するタイトル印刷部と、証明書所持者本人のデータを印刷する本人データ印刷部と、前記本人の顔写真が印刷される ID 情報潜在付与済顔写真印刷部を有する前記(1)、(2)又は(3)記載のカード状の証明書である。

【0015】(11) 本発明は、前記偽造防止印刷層は

微小文字印刷部、万線模様(モアレ)印刷部、レリーフ模様印刷部、モアレ発生彩紋印刷部及び光学的变化素子(OVD:Optically Variable Device)を有する前記(1)、(2)又は(3)記載のカード状の証明書である。

【0016】(12) 本発明は、前記 ID 情報潜在付与済顔写真印刷部は前記証明書所持者本人のカラー顔写真から CMY 又は CMYK のカラー印刷により画像を作成し、この CMY 又は CMYK の色中のイエロー部分に通常では目視不可能な ID パターン情報を重畳させた ID パターン情報の潜在付与済みデジタルカラー画像から構成された前記・記載のカード状の各種証明書である。

【0017】(13) 本発明は、前記(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)、(7)、(8)、(9)、(10)、(11)又は(12)記載のカード状の証明書の表面全体をオーバコート層で被覆保護したカード状の証明書である。

【0018】(14) 本発明は、前記 IC メモリ層は前記証明書所持者本人の顔写真画像及び証明書所持者本人のデータを記憶する本人情報記憶手段を有する前記(1)又は(2)記載のカード状の証明書である。

【0019】(15) 本発明は、前記光磁気記憶層又は磁気記録層は前記証明書所持者本人の顔写真画像及び証明書所持者本人のデータを記憶する本人情報記憶手段手段を有する前記(2)記載のカード状の証明書である。

【0020】(16) 本発明は、前記カード状の証明書は身分証明書、パスポート、その他公的機関で発行する証明書として利用される前記(1)乃至(15)のうちの 1 からなるカード状の証明書である。

【0021】(17) 本発明は、前記(1)又は(2)に記載の前記偽造防止印刷層中の本人確認データを目視により得た結果と前記(1)又は(2)に記載の IC メモリ層から読み出された本人確認データとが一致した場合に本人と認める各種証明書の確認方式である。

【0022】(18) 本発明は、前記(1)又は(2)に記載の前記偽造防止印刷層中の本人確認データを目視により得た結果と前記(2)に記載の光磁気記憶層又は磁気記録層から読み出された本人確認データとが一致した場合に本人と認める各種証明書の確認方式である。

【0023】(19) 本発明は、前記(1)又は(2)に記載の前記偽造防止印刷層中の本人確認データを目視により得た結果と、前記(1)又は(2)に記載の IC メモリ層から読み出された本人確認データと、前記(2)に記載の光磁気記憶層又は磁気記録層から読み出された本人確認データとが一致した場合に本人と認める各種証明書の確認方式である。

#### 【0024】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について説明する。本発明のカード状の身分証明書は、その内部に IC メモリ層を有するカード基材の上面に偽造防止

印刷層を裏面に光磁気記憶層又は磁気記録層を形成し、該偽造防止印刷層および光磁気記憶層又は磁気記録層が形成されたカード基材の表面および裏面を含めた全面をオーバーコート層により被覆したものである。必要に応じて、カード基材表面又は裏面に点字（エンボス）を、身分証明書の側端部にカードの種別又は走査方向を示す切り欠けを形成する。

【0025】そして、前記偽造防止印刷層には、タイトルである「身分証明書」と記載された部分は赤外線反射吸収インキで印刷されている部分の他に、ID情報潜在付与済顔写真が印刷されており、これは身分証明書所持者本人のカラー写真からCMY又はCMYKのカラー印刷により画像を作成し、このCMY又はCMYKの色中のイエロー部分に通常では目視不可能なIDパターン情報を重畳させたIDパターン情報の潜在付与済みデジタルカラー画像で構成されている。更に、前記偽造防止印刷層には、磁気インキ、微小文字、蛍光インキ又は必要に応じて万線模様（モアレ）、レリーフ模様、モアレ発生彩紋等の偽造防止効果を有する印刷が施される。

【0026】前記ICメモリ層は本人の顔写真画像及び本人の身分情報を電氣的に書き込み又は読み出すためのもので、電氣的な接触がある接触型と、電氣的な接触がない非接触型とがある。

【0027】前記光磁気記憶層は本人の顔写真画像及び本人の身分情報を光又はレーザーで書き込み又は読み出すためのものである。

【0028】前記カード状の証明書は、偽造防止印刷層を透かし入り印刷基材上に形成する形態や、ICメモリを内蔵するカード基材中に透かしを入れる形態にすることにより、更に偽造防止効果を向上することができる。

【0029】本人確認方法としては、前記偽造防止印刷層に形成された本人の顔写真とその他の偽造防止印刷方法により印刷された本人の身分情報から得た結果（以下、本人情報1という。）と、ICメモリ層から読み出された本人の顔写真画像及び本人の身分情報から得た結果（以下、本人情報2という。）とが一致した場合に本人と認める方法（本人確認方法A）、前記本人情報1と、光磁気記憶層から読み出された本人の顔写真画像及び本人の身分情報から得た結果（以下、本人情報3という。）とが一致した場合に本人と認める方法（本人確認方法B）、及び前記本人情報1、本人情報2及び本人情報3の全てが一致した場合に本人と認める方法（本人確認方法C）がある。

【0030】

【実施例】本発明のカード状の証明書の実施例を以下に説明する。図1（a）はカード状の証明書の平面図であり、同（b）は断面図である。本発明のカード状の身分証明書1は、図1（b）に示すように、その内部にICメモリ層4を有し、プラスチック等の各種合成樹脂からなるカード基材2の上面に偽造防止印刷層3が形成さ

れ、必要に応じて、カード基材2の下面に光又はレーザーによるデータの書き込み又は読み出しを行う光磁気記憶層5が形成される。前記光磁気記憶層5に代えて磁氣的にデータの書き込み又は読み出しを行う磁気記録層を採用してもよい。

【0031】前記カード状の証明書1は、図5及び図6に示すように、これ全体をオーバーコート層6により被覆することにより証明書1の上面及び下面に形成された個人データの保護および張り替え又は書換えを防止する。

【0032】前記カード基材2の上面に形成される偽造防止印刷層3は、図1（a）に示すように、偽造防止効果を有する印刷方法が施されており、タイトルである「身分証明書」と記載された部分は赤外線反射吸収インキ3bで、「発給番号」と記載された部分は磁性インキ3cで夫々で印刷されている。なお、証明書の偽造防止印刷層3のどの箇所をこれら赤外線反射吸収インキ3b又は磁性インキ3cで印刷するかは必要に応じて適宜変更することができる。

【0033】また、前記偽造防止印刷層3には、ID情報潜在付与済顔写真3aが印刷されており、これは証明書所持者本人のカラー写真からCMY又はCMYKのカラー印刷により画像を作成し、このCMY又はCMYKの色中のイエロー部分に通常では目視不可能なIDパターン情報を重畳させたIDパターン情報の潜在付与済みデジタルカラー画像で構成されている。前記IDパターン情報を顔写真3aの背景部分（点線〇印で示した領域）に潜在付与させることが望ましい、この場合には目視し難く、偽造防止効果が顕著となる。なお、前記潜在付与されたIDパターン情報は目視不能なので、本人確認の場合には、像拡大装置等により拡大して目視することにより、IDパターン情報を確認することができる。

【0034】更に、前記偽造防止印刷層3には、磁性インキ3c、微小文字3d、蛍光インキ3e又は必要に応じて万線模様（モアレ）、レリーフ模様、モアレ発生彩紋（図示せず。）等の偽造防止効果を有する印刷が施される。なお、レリーフ模様はある形状の図形を表現する場合、その模様を複数の平行線により浮き彫り状態を表現して立体感を表現する印刷方法である。

【0035】更に、前記偽造防止印刷層3には印刷層が施されていない部分に光学的变化素子（OVD: Optically Variable Device）3e、例えば、ホログラムのように観察位置の移動によって色や模様が異なって見える素子やエンボス（点字）7を設ける。前記エンボス（点字）7はカード基材2の下面に形成してもよい。更に、カード状の証明書1の側端部にはカードの種別又は走査方向を示すカード識別カット8が形成される。

【0036】次に、カード基材2及びその内部に収納されているICメモリ層4について説明する。前記ICメモリ層4は本人の顔写真画像及び本人の身分情報を電氣

的に書込み又は読み出すためのもので、図 2 に示す電気的な接触がある接触型と、図 3 に示す電気的な接触がない非接触型とがある。IC メモリ層 4 は半導体メモリ、強誘電体メモリ等、カード状のものに適した性能、即ち、集積度が高く、厚さが薄く、書換え可能回数が大で、消費電力が少ない等の性能を有するものが適している。

【0037】次に、カード基材 2 の下面に形成される光磁気記憶層 5 について説明する。前記光磁気記憶層 5 は前記 IC メモリ層 4 と同様に本人の顔写真画像及び本人の身分情報を光又はレーザで書込み又は読み出すためのものである。光磁気記憶層 5 の代わりに磁気的に本人の顔写真画像及び本人の身分情報を書込み又は読み出す磁気記録層を用いることもできる。

【0038】更に、図 7 に示すように前記偽造防止印刷層 3 を紙、合成紙、合成樹脂フィルム等からなる透かし入り印刷基材 3 1 上に形成することにより、偽造防止効果が一層向上する。このような透かし入り印刷基材 3 1 を用いる場合には、この印刷基材 3 1 の裏面に接着剤又は粘着剤付剥離紙等を施すことにより、カード基材 2 の上面に前記印刷基材 3 1 を簡単に貼着することができる。

【0039】また、図 8 に示すようにカード基材 2 の上側の層 2 1 内に透かし入り繊維 2 2 を組み込むことにより、偽造防止効果が一層向上するとともに機械的強度も向上する。なお、透かし入り繊維 2 2 はナイロン、テトロン等の合成繊維、ガラス繊維又はカーボン繊維を用いる。カーボン繊維の場合には機械的強度の向上の他に外部からのノイズを遮蔽する効果を有する。

【0040】証明書所持者が本人であるとの確認の方法（以下、本人確認方法という。）について、以下に説明する。本人確認方法としては、前記偽造防止印刷層 3 に形成された本人の顔写真 3 a とその他の偽造防止印刷方法により印刷された本人の身分情報から得た結果（以下、本人情報 1 という。）と、IC メモリ層 4 から読み出された本人の顔写真画像及び本人の身分情報から得た結果（以下、本人情報 2 という。）とが一致した場合に本人と認める方法がある。

【0041】更に、他の方法として、前記本人情報 1 と、光磁気記憶層 5 から読み出された本人の顔写真画像及び本人の身分情報から得た結果（以下、本人情報 3 という。）とが一致した場合に本人と認める方法がある。更に、他の方法として、前記本人情報 1、本人情報 2 及び本人情報 3 の全てが一致した場合に本人と認める方法がある。前記本人確認の方法の何れを選択するかは、確認精度、コスト等を考慮して行うものである。

【0042】このカード状の証明書は、公的機関が発行する身分証明書、パスポート、有権者カード、住民票、運転免許証は勿論のこと、また、法的に可能であればこれらの各種証明書を一枚のカードで兼用することもでき

る。更に、公的機関が発行するもの以外の各種カードにおいても、許されるコストの範囲内の前記各種偽造防止手段を取捨選択することにより、本発明のカードを採用することができる。

#### 【0043】

【発明の効果】以上のように、証明書を本発明のような構造にすることにより、万人に発行されかつ偽造され難く、携帯に便利で、且つ公共機関で発行されるという高い信用度を得ることができると共に所持者本人の各種個人情報情報を収納することができ、且つ公的な書類にも適用することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図 1】（a）本発明のカード状の証明書の平面図である。

（b）本発明のカード状の証明書の断面図である。

【図 2】本発明のカード状の証明書の接触型 IC メモリ層の概略構成を示す図である。

【図 3】本発明のカード状の証明書の非接触型 IC メモリ層の概略構成を示す図である。

【図 4】本発明のカード状の証明書の下面の概略構成を示す図である。

【図 5】本発明のカード状の証明書（下面に光磁気記憶層を施さないタイプ）にオーバーコート層を被覆した実施例の断面図である。

【図 6】本発明のカード状の証明書（下面に光磁気記憶層を施したいタイプ）にオーバーコート層を被覆した実施例の断面図である。

【図 7】本発明のカード状の証明書において、偽造防止印刷層を透かし入り印刷基材上に形成した実施例の断面図である。

【図 8】本発明のカード状の証明書において、カード基材内に透かしを形成した実施例の断面図である。

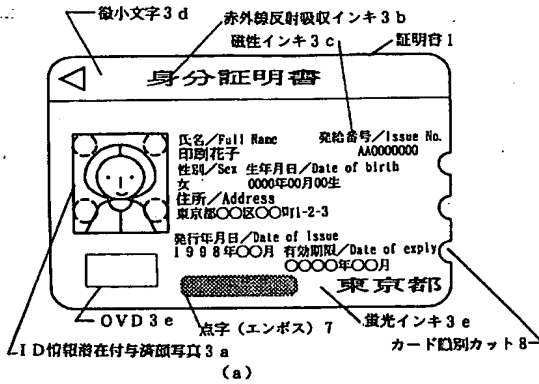
#### 【符号の説明】

- 1 カード状の身分証明書
- 2 カード基材
- 2 1 上側の層
- 2 2 透かし入り繊維
- 3 偽造防止印刷層
- 3 a ID 情報潜在付与済顔写真印刷部
- 3 b 赤外線反射吸収インキ印刷部（タイトル印刷部）
- 3 c 磁性インキ印刷部
- 3 d 微小文字印刷部
- 3 e 蛍光インキ印刷部
- 3 f OVD
- 3 1 透かし入り印刷基材
- 4 IC メモリ層
- 4 a データメモリ
- 4 b CPU
- 4 c RAM
- 4 d ROM

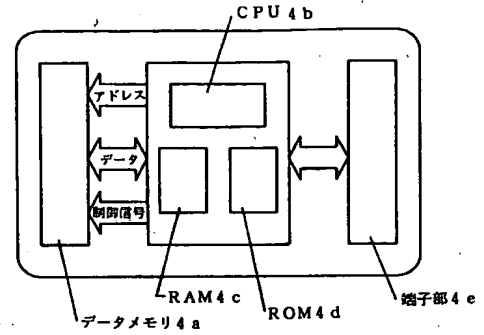
- 4 e 端子部  
4 A メモリ  
4 B 制御部  
4 C 変復調部  
4 D 通信制御部

- 4 E アンテナ  
5 光磁気記憶層  
6 オーバーコート層  
7 点字 (エンボス)  
8 カード識別カット

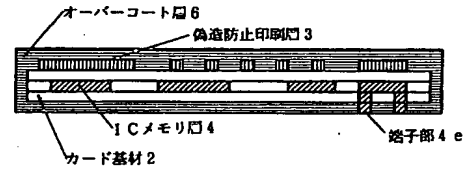
【図 1】



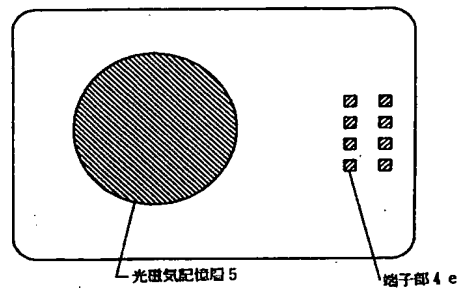
【図 2】



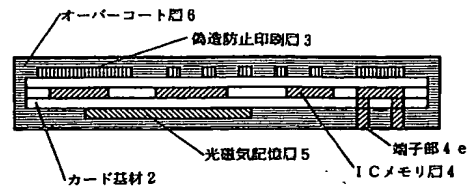
【図 5】



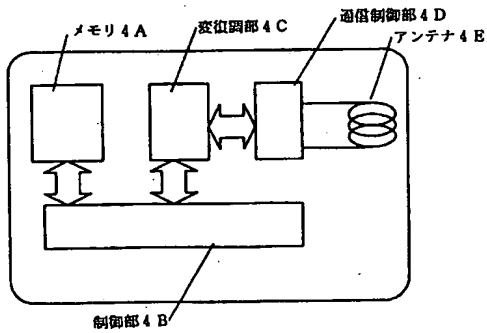
【図 4】



【図 6】

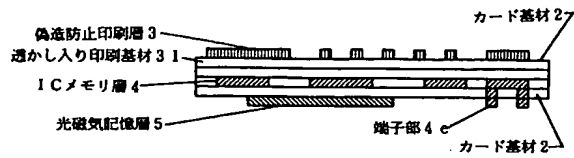


【図 3】

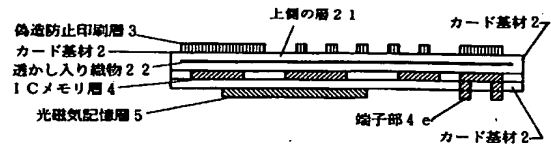




【図7】



【図8】



フロントページの続き

Fターム(参考) 2C005 HB01 HB02 HB20 JA01 JA11  
 JB02 JB05 JB12 JB19 JB20  
 JB23 JB25 KA05 MA04 MB01  
 PA03 PA15 PA21 QC05 QC12  
 QC15 SA13 SA14 SA16  
 5B035 AA13 BA03 BB09 BC01 CA01